

オオサンショウウオ以外のオオサンショウウオ属

及び オオサンショウウオ属内の種間の交雑個体 ※1

※1 政令上は、

✓「オオサンショウウオ属に属する種のうちオオサンショウウオ以外のもの」

✓「オオサンショウウオ属に属する種とオオサンショウウオ属に属する他の種の交雑により生じた生物」
として整理

分類: 有尾目オオサンショウウオ科オオサンショウウオ属

未判定外来生物: なし

種類名証明書添付生物: オオサンショウウオ属の全種



チュウゴクオオサンショウウオ × オオサンショウウオ
(交雑個体)

写真提供: 自然環境研究センター

オオサンショウウオ属の生物学的特徴

- ・世界最大の両生類で、全長150cm以上のものも確認されている。
- ・長寿命で、飼育下では少なくとも60年生存した例がある。
- ・流水性で河川の上中流域に生息し、一生を水中で過ごす。
- ・肉食性で魚類、甲殻類、両生類、水生昆虫などを捕食する。
- ・繁殖期には強いオスが河川の巣穴を占拠し、そこに複数のメスが訪れ500個以上の卵を産出。
- ・オスは卵と幼生を保護する。

オオサンショウウオ属の種系統



本属の個体を取り扱う際は各法令の規制を守りましょう。

オオサンショウウオ (*Andrias*) 属 = 種の保存法(※2)に基づく国際希少野生動植物種

☒ 交雑個体を除く ☒ 生死を問わない

※2 正式名称は「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」

A. japonicus オオサンショウウオ

在来種 = 文化財保護法に基づく特別天然記念物

☒ 生体のみ

▼2019年より前の分類(1種のみ)

A. davidianus チュウゴクオオサンショウウオ

外来種 = 外来生物法(※3)に基づく特定外来生物

☒ 交雑個体を含む ☒ 生体のみ

※3 正式名称は「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」

▼現在(2024年5月)の分類(少なくとも4種)

学名	和名	英名	原産地	日本での野外分布
<i>A. davidianus</i>	チュウゴク オオサンショウウオ ※4	Chinese giant salamander	中国	近畿地方を中心に中部、 中国地方でも定着 ※5
<i>A. sligoi</i>	スライゴ オオサンショウウオ	South China giant salamander	中国	確認なし
<i>A. jiangxiensis</i>	なし	Jiangxi giant salamander	中国	確認なし
<i>A. cheni</i>	なし	Qimen giant salamander	中国	確認なし

※4 別名: タイリクオオサンショウウオ、シナハンザキ

※5 日本で見つかった個体の大部分は *A. davidianus* とその交雑個体

以下では、現在の分類における*A. davidianus* (チュウゴクオオサンショウウオ)、同種と在来種のオオサンショウウオの交雑個体と在来種間の判別ポイントを示します。

Hara et al. 2023. Zootaxa, 5369:42–56. 参照

⚠ 交雑が進むにつれ外見での判別は難しくなります。確実な判別には遺伝子検査が必要です。
在来種は特別天然記念物です。また、外来種及び在来種(交雑個体を除く。)は国際希少野生動植物種です。
 種の判別は慎重に行いましょう。

■ 形態の特徴まとめ

形態\種類	チュウゴク オオサンショウウオ	交雑個体	オオサンショウウオ
体色(地色)	灰色～黒色の地色	褐色の地色	褐色・黄色の地色
体の斑紋	淡色の斑紋	褐色の斑紋・ 下地より淡色の斑紋	黒色の斑紋
頭部の幅	広め	広め	狭め
頭部背面	イボが少なく滑らか	小さなイボが多い	大きなイボが多い(ごつごつ)
イボの形状	非常に小さく 対になるものが多い	小さく 対になるものが多い	大きく 対にならない
下顎のイボ	列状にならぶ	列状にならぶ	なし
喉のイボ	列状にならぶ	列状にならぶ	なし
尾の長さ	長め	長め	短め

■ 背面の色彩

チュウゴクオオサンショウウオ

灰色～黒色の地色に淡色の斑紋



交雑個体

褐色の地色に黒い斑紋と下地より淡色の斑紋



オオサンショウウオ

褐色・黄色の地色に黒色の斑紋



■ 頭部側面



写真提供: 原 壮太郎
(当ページ全ての写真)

■頭部背面(上段)・頭部背面のイボの拡大(下段)

チュウゴクオオサンショウウオ

イボはごく小さく、かつ少なくて滑らか



対になるイボが多い



交雑個体

小さいイボが多い



対になるイボが多い



オオサンショウウオ

大きいイボが多く、ごつごつ



イボは対にならない



■頭部腹面(下顎から喉にかけて)

チュウゴクオオサンショウウオ

下顎にイボが列状にならぶ



喉にイボが列状にならぶ

交雑個体

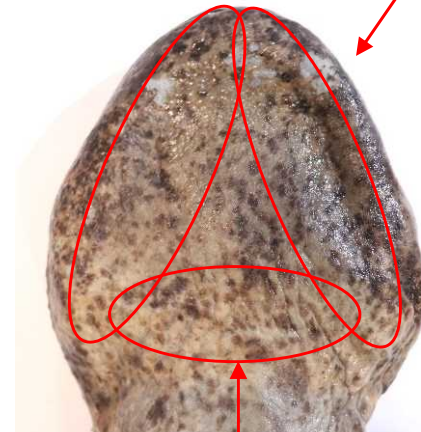
下顎にイボが列状にならぶ



喉にイボが列状にならぶ

オオサンショウウオ

下顎に列状のイボがない



喉に列状のイボがない

写真提供: 原 壮大朗(当ページ全ての写真)

特記事項: *A. sligoi*、*A. jiangxiensis*、*A. cheni* は *A. davidianus* とよく似るが、*A. sligoi* は鼻孔や眼の周囲のイボの密度、体サイズなどから、*A. jiangxiensis* は頭部や下顎のイボが少ないことや前肢の指の長さなどから、*A. cheni* は前肢の指の長さ、鼻孔や眼の周囲のイボの密度などからそれぞれ区別できる。3種とも、オオサンショウウオとは頭部のイボの形態からそれぞれ区別できる。